

	課題分析	授業改善策
国語	情報を正確に読み取る力と基礎学力（漢字や語彙）に課題がある生徒が多い。また、根拠や理由を示せず、自分の考えを文字に起こすことに抵抗がある生徒が多いため、文章表現が苦手である。	語彙や漢字の学習の時間を増やし、小テストなどで確認を行う。文章の要約や短文作成などの機会を多く設ける。生徒自らが考えて書く学習活動を多く取り入れ、表現の楽しさを学ばせる。
社会	基本的・基礎的な知識の定着に差がある。また、文章で答えたり、発表したりする際、自分の考えを表現する力に課題がある。ICT機器を活用した対話的な学びの機会をさらに増やしていくことが求められる。	授業冒頭の既習事項確認やグループワークを用いた反復学習を促進する。オンラインドリルや補足動画を活用して個別最適な学びを提供する。グループワークの機会を増やし、アウトプットを通して理解や思考力を伸ばす。
数学	生徒間で習熟度の差が大きい。そのためコースごとに生徒の実態に合わせて、一人ひとりに合ったきめ細かな指導が求められる。ICTの活用が限定的で、生徒の視覚的理解を促し切れていない。	習熟度別課題やペア学習を通じて個別最適な学びを促進する。ICT教材（動画など）を導入することで視覚的な理解を支援し、主体的・対話的な学びを実現する。
理科	生徒間での既習事項の定着度に差がある。観察・実験結果を統合的に考察する力や思考力が不足している。思考力を必要とする活動に前向きになれない生徒がいる。学習方法の調整を考える生徒が少ない。	ICT機器を活用し、章末テストを増やすことで演習の機会を増加させ、知識の定着度を向上させる。実験結果や考察に取り組む前に十分な準備を促す。教え合いの活動を導入し、生徒間の理解の差を縮める。
音楽	音楽の特徴を捉えたり、言葉で表現しようとしたりに課題がある。また、発声の原理を明確に理解し、実践することに課題がある。	あらゆる分野の「良い音楽・良い演奏」を聴かせて、生徒の歌唱や演奏に取り入れてレベルアップさせる。また、合唱練習時や音楽鑑賞の態度、姿勢などの授業規律を守らせ、前向きに取り組めるようにする。
美術	SNSの普及により、安易に画像やアイデア、手軽で見栄えのする技法が入手できるため、他者の模倣に終始し、オリジナリティーが希薄になる傾向にある。	アナログな手段での資料や情報収集の意義を理解させ、自分で気付き、考え、独自の答えを出す創造性を育む活動を充実させる。タブレットPCは使用目的や効果的な使用タイミングの理解が深まるようにしていく。
保健体育	令和7年度1学期の授業評価アンケートの結果などから、タブレットPCなどのICT機器を効率よく活用することができず、生徒の技能・理解度向上につなげることができていないことが分かった。	どの單元においてもタブレットPCを活用する機会をつくる。また、「撮影して終わり」にならないよう、動画を通して自己の運動技能について理解し、自己調整できるよう取り組ませる。
技術・家庭	【家庭科】ICT学習で作品製作の手順動画を制作したが、分かる生徒が多くいる中でも中々理解が難しい生徒がおり、来年度への課題となった。 【技術科】ICT機器を使用した授業や実習の内容を提示したが、理解している生徒が多くいる中でも、なかなか理解が難しい生徒もいる。来年度への課題となった。	【家庭科】分かりやすく内容を精選して、生徒が考え答える過程をいれた授業展開を試みる。 【技術科】ICT機器を使い、理解しやすく内容を精査し、振り返り学習をしやすい環境をつくる。
外国語(英語)	各学年6割程度またはそれ以上の生徒が与えられた課題をこなし、着実に知識面の学びにつなげていく様子だが、目的・場面・状況に合わせて得た知識を選択し活用する力が十分に育っているとは言い難い。	実践的な知識の活用を目指す授業目標を設定し、指導と評価の一体化の考え方に基づいて授業プランを作成し実行していく。知識面での学習が進んでいない生徒についてはタブレットPCも活用して、自主学習につなげる。